

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル：CASBEE京都-新築（2015年版）|使用評価ソフト：CASBEE京都-新築2015（v.1.0）

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)京都二条油小路町ホテル計画	階数	地下1F・地上4F
建設地	京都府中京区二条通西側八幡町21-1(油小路通二条下る二条油小路西側四丁目)二条下ると南側	構造	S造
用途地域	商業地域、近隣商業地域	平均居住人員	562 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年5月 予定	評価の実施日	2018年2月16日
敷地面積	4,468 m ²	作成者	竹内 圭佑
建築面積	18,987 m ²	確認日	
延床面積	18,987 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.9 ★★★★★★☆☆

S: ★★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算 ★★★★★☆☆

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.6

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.9

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
世界遺産の二条城に面しており、古くは三井北家邸宅として使用され時代とともに引き継がれてきた歴史ある場所であり、現代の技術と伝統的な技法を取り入れ景観を大事にしており、旅行者に京都の文化や歴史、風情を感じていただけるような計画。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
軒を設け熱負荷の低減を図っており、建築材料にJIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に使用、ホルムアルデヒド以外のVOCについても放散量の少ない建材を使用。また、共用部の開口を広くとることで快適な室内環境を提供す	客室を広く設けゆとりのある空間作りを図っている。節水器による省エネ化、防汚性の高い材料を使用し、維持管理のしやすい建物計画としている。	中庭を大きく設け開放的で快適に過ごせる空間づくりを図り、防犯カメラの設置、セキュリティ監視装置を設置し、館内の安全性を保つ。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
トップライトによる自然採光、太陽光発電設備を設け、自然エネルギーの活用をしている。	不活性ガス消火剤、ノンフロン断熱材を使用している。	荷解き車両の駐車スペース・駐車場・車寄せのスペースの確保をしており周辺道路の渋滞緩和を図る。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される